

福島方言の記述の概況と 指示詞・代名詞調査報告

白岩広行(立正大学)



発表の概要

- (1) 個人的な研究のモチベーション
- (2) 福島方言の記述の概況
- (3) 代名詞
- (4) 指示詞
- (5) これからの課題

2

個人的な研究のモチベーション

震災を受けて……

もしこのまま福島が
消えてしまったら……

白岩: 1982年福島県
伊達市生まれ

自分たちの生きてきた証(言語・文化)は
自分たちの手で記録する!

研究者としての仕事……方言を記録して残す

……通言語的に面白くなくてもお許しください

3

福島方言の記述の概況

- 談話資料の作成
 - 白岩と祖母の談話 約3時間 + α
 - 表記法の整理
 - 民話資料の活用?
- 基礎語彙の収集
 - 800語 + α
- 簡易文法書の作成



4

福島方言の記述の概況

『福島県伊達市方言談話資料』(白岩2017a)

- 白岩の祖母(1929年生まれ、伊達市生え抜き話者)と家族の談話を大量に収録
 - 約7時間分を福島市内の業者に委託して文字化
 - 公開可能な約3時間分を白岩が整備して編集

話者OB=祖母、話者OR=白岩

- 談話収録・文字化の労力を削減
- 同一話者・同スタイルの談話を大量に整備(文法記述には有用、社会言語学的記述は不可)

5

福島方言の記述の概況

自身の身内を対象にするのは、研究者としての自己開示という意味もある。方言研究者は、各地の方言話者からデータを集め、それを研究業績という形で公にする。無用な話者の個人情報伏せるのが通常だが、それを伏せたとしても、話者の私的な領域に立ち入るといふ本質は変わらない。一方で、研究者が自身の私的な部分を開示することは基本的にない。これは実はいびつなことであって、調査者自身の生活がその方言社会のなかにある場合、自分がどのような言語的背景を背負って研究しているのか開示するのが先であり、そのうえで他者の協力を得るのが本筋であろうと考えた。(白岩2017a:3)

6

福島方言の記述の概況

表記法未整備で
コーパスは作れない

- 表記法の整備
 - 漢字かなまじりで表記(白岩2018a、2018b)

え
例) あんた家で、たけのこ食うかい?

[tagenogo] は /takenoko/ と解釈し「たけのこ」と表記

cf. [amega] /ame-ka/(rain-INT) 「雨か」
[amega] /ame-ga/(rain-NOM) 「雨が」

[ga]を「が」と書くわけにいかない

7

福島方言の記述の概況

従来の文字化
……「方言音声／標準語訳」の2段表記

例) アンタエデ タゲノゴ クーガイ?
 あなたの家で たけのこ 食べるかい?

- 編集に手間がかかる
 - 業者が文字化を受けつけない
 - パソコンで検索をかけにくい
 - ー1段目と2段目を同時に検索してしまう
 - ー方言が音素表記でない
- 例) クーガイ／クーガエ／クーカイなど揺れる

8

福島方言の記述の概況

本格的にやるなら

……「音素表記／グロス／英訳」の3段表記

例) aNta-e=de takenoko kuu=ka=e?
2.SG-home=LOC bamboo.shoot eat.NPST=INT=POL
'Will your family eat bamboo shoot?'

(2:2人称 SG:単数 LOC:処格 NPST:非過去 INT:疑問 POL:丁寧)

継承の障壁は
話者の言語能力でなく
ドメインの問題では？

……しかし、手間がかかる

漢字かなまじり表記なら日常的に方言が「書ける」
→ 方言使用のドメインが広がる → 方言継承へ

9

福島方言の記述の概況

白岩(2017b)に一覧化

民話資料の収集・整理

- 福島県内の民話資料約200点を収集・整理
 - うち16点は「録音からの文字化」と明記
 - そのほか約50点も方言基調の語り
- 談話資料に準じたテキストとして活用を検討
 - 多様な話者の談話が一挙に増える
(社会言語学的記述にも使える)

10

福島方言の記述の概況

基礎語彙の収集

- 峰岸真琴『言語調査票2000年版』(http://www.aatufs.ac.jp/~mmine/kiki_gen/query/aaquery-1.htm)をもとに話者OBから800語収集
- 本プロジェクトでさらに語彙を収集・例文を録音

「基礎語彙800語」「簡易文法書」を白岩(2017b)に収録

簡易文法書の作成

- 木部(2016)の「方言記述の項目(案)」を参考に音声・音韻項目と文法項目を概観(B5版31ページ)

11

代名詞

表1 伊達市方言の代名詞(飯豊1974の体系)

	単数	複数
1人称	ore、ora	ora、ore-ra、ora-ra
2人称	aNta(同輩以上) omεε(同輩、同輩以上) nisja(目下)	記述なし

- 男女の区別なくore、oraを使う
- 複数のoraの出自はore-ra>orra>ora
- 単数のoraの出自はore=wa>oraで、
=wa後接以外の場合にも使用されるように

出自は
飯豊の推定

12

代名詞

表2 伊達市方言の代名詞(話者OBの談話・内省)

	単数	複数
1人称	ore (ore=wa相当でのみora)	ora、ore-ra
2人称	aNta、omee(ぞんざい) *nisja(昔は聞いた)	aNta-ra、omee-ra *nisja-ra
3人称	aecu、ano hitoなど	aecu-ra、ano hito-ra など

- oraは複数専用、もしくはore=wa相当
- nisjaは不使用(昔は聞いた)

13

代名詞

- (1) oreの例
- (2) ora (<ore=wa) の例

談話より

- (1)【自分は運がいいことが多い】
おれが、おれんとこさ神様ついてっとおれは思っ
てっかな。
- (2)【地震で墓地の石碑が壊れそうになった話】
おら、感づかねかったのよな、石碑までは。「石碑、
落ちそうになってたぞい、あんたえの」っていう…、教
えらっちゃから、〇〇さん、ありがてかった。

aNta-e '2SG-home'
-eは「家」を表す名詞接尾辞

1人称単数: ore
(ore=wa が ora になることあり)

14

代名詞

- (3) 複数・聞き手包括
- (4) 複数 = 双数・聞き手除外

- (3) OR: 畑って、うちの畑?
OB: うん。おらえで買った畑。

ora-e '1PL-home'
※独居でもore-eと
は言わない

- (4)【息子に継がせず田畑は自分たち夫婦が管理した】
父ちゃん【OBの息子】らはな、百姓やんねからな。や
んねから、あれ、いかったの。おらがやってきたから
な。

1人称複数: ora
(双数なし、包括/除外の区別なし)

ore-raは少数

15

代名詞

- (5) 2人称単数
(omeeは談話に見られず)
- (6) 3人称単数(ほいつ、あいつ)
- (7) 3人称単数(その人、あの人)

- (5)【親戚宅に電話して】
あんたえでタケノコ食うかい? かねかい《食わない
かい》?
- (6)【近所の人嫁とりの話】
ほいつがあいつさくっちゃ《くれた=あげた》んだって。
- (7)【農作物の放射能検査について】
その人に教えらっちゃのよ。検査してもら…、もらわ
ねっかだめなんだって。あ、あの人、あの人に教え
らっちゃからいかった*。

16

代名詞

再帰代名詞 waga

- (8) わがの誕生日なんて忘っちえたんだ、昔の人。
- (9) おれ、蛇は絶対殺さね。〇〇兄ちやも殺さねつつたな。わが蛇年生まれだから。

名詞接辞 -sama : 偉い人(1世代上、神仏など)

- (10) 【幼時に見た神仏の加護について】
ほの家の息子のお嫁さんが、Aさまつつう人あった。
その人がうんと明神さまお参りしたの、

17

代名詞

-jaN、-cjaNともに親しい相手

名詞接辞 -jaN : 主に同世代の男性
名詞接辞 -cjaN : 主に同世代の女性、年下の人

- (11) BやんとCちゃんいたとこさ来て
※「Bやん」はOBの夫の友人(男性、近隣在住)
「Cちゃん」はOBの友人(女性、近隣在住)
「Bやん」と「Cちゃん」は夫婦
- (12) Dちゃんっていう家さ行って「おれ、わりい夢見たんだ。蛇の夢見たんだ。聞いてくなんしょ」っていうて、
【中略】したっけが、別のEちゃんつつう人もいて、
※「Dちゃん」「Eちゃん」はOBの友人(女性、近隣在住)

18

代名詞

主に農村社会の外にある人

名詞接辞 -saN : -jaNで指す人物ほど親しくない人
名詞接辞 -kuN : 会社勤めなどの年下の人

- (13) Bやんの本家がFさんつつうちで
- (14) 【訪ねたら留守だった】Gさんも、誰もいねんだ。
※「Gさん」は会社勤めの兼業農家
- (15) Hくん来て、Iさんつつう人とこせでった《連れてつた》つつうんだ。
※「Hくん」は「Bやん」の息子。仙台在住で会社勤め
「Iさん」は集落在住だが福島市内に会社勤め

19

指示詞

まるで面白くありません

指示詞の体系は基本的に標準語と同じ

近称	中称	遠称	不定称
ko-	so- ~ ho-	a-	do-

- 自然談話では、中称はho-が圧倒的に多い
- 話し手の背後のものは振り向いて指す(どうがんばっても振り向いてしまう)



(右図: 本プロジェクト調査票より)

20

指示詞

表3 伊達市方言の指示詞(話者OBの談話・内省)

	近称ko-	中称so-, ho-	遠称a-	不定称do-
物 -re	ko-re	so-re, ho-re	a-re	do-re
物・人 -ecu	ko-ecu	so-ecu, ho-ecu	a-ecu	do-ecu
属格 -no	ko-no	so-no, ho-no	a-no	do-no

➤ -reはフィラーになりやすい(後述)

21

指示詞

dore hodo 相当の表現に
nanihodo を使用(用例省略)

➤ -re は hodo に続くとき -ra になることがある

(16)【原発事故賠償金の話】いや、大変だべ、こらほど
の人間、福島県、みな、けらんじ《くれられない＝もら
えない》から、

➤ 属格-no は kuree に続くとき -na になることがある

(17)【ORが住んでいたときの集落の小学生の数】

OR: うん。9人しかいねかったもん。

OB: うーん。そのくれだったかなあ。今も、* *、ほなく
れかな。だんだん少なくなんだんな。

22

指示詞

表3の続き

	近称ko-	中称so-, ho-	遠称a-	不定称do-
場所 -ko	ko-ko	so-ko, ho-ko	asoko asuko asuku	do-ko
方向 -ccu	ko-ccu	so-ccu, ho-ccu	a-ccu	do-ccu
様態 -da	ko-da	so-da, ho-da	a-da	do-da
連用 -o~-a	ko-o	so-o, ho-o	a-a	do-o

➤ 様態では '-da' を使う 例) koda koto (こんなこと)

23

指示詞

-re: フィラーとして使われることが多い

-ecu: 指示詞として使われる

表4 3時間談話における-re, -ecuの使用数(話者OB)

	近称ko-	中称so-, ho-	遠称a-	不定称do-	
-re	これ 105例	それ 8例	ほれ 61例	あれ 140例	どれ 3例
-ecu	こいつ 46例	そいつ 2例	ほいつ 70例	あいつ 40例	どいつ 0例

24

指示詞

フィラー「これ」
聞き手が気づいていない近くのモノに注意を引きつける

(18)【地震で揺れているときの話】

OR: あ、戸？

OB: 戸でねえ。これ、こいつ【ガラス戸付きの家具】(OR: うん) 台の上さ上がってたべ。(OR: うん) あの、今は開かっててハ、危ねえから、こ、こいつが、あの…

OR: こいつって？

OB: うん、これ、これ、これ、こいつ、つかんでたの、うん。

- 「これ」で聞き手の注意を引き、「こいつ」は述語にかかる

25

指示詞

標準語「ほら」相当
(「ほら」は3時間で2例のみ)

フィラー「ほれ」
聞き手も理解できるはずのコトに注意を引きつける

(19)【神棚のお札を指して】

OB: あの、これ、こいつ、額さ入っち、ここさ飾ってたの。
(OR: うん) ほいつ、神棚掃除するに、ほれ、いじってちっとずらしたべ。(OR: うん) ほいつが、おれの手触ったんだかなんだか、ガチャンと、この下さ落ちたの。

- 「ほれ」で聞き手の注意を引き、「ほいつ」は述語にかかる

26

指示詞

フィラー「あれ」
話し手自身が忘れていたモノゴトを思い出そうとする
聞き手が気づいていない遠くのモノに注意を引きつける

(20)【北海道旅行の話】 aeccja < aecu=sa(あいつさ)

OB: 汽車で行って(OB: うん) 海の、そ、そ、あれ、底、あれ、青函トンネル歩いてっぺ。(OR: うん) あいつちゃ乗ってたの。

(21) OB: 雑刀、ほこさいたべ、あれ。(OR: うん、どこさ…)あれ、あれ、あいつ。

- 「あれ」で思い出したり、聞き手の注意を引いたり
- 「あいつ」は述語にかかったり、述語になったり

27

指示詞

指示詞とフィラーの線引きは難しいが……

OBの3時間談話における白岩の感覚

- 「こいつ」「ほいつ」「あいつ」はフィラーにならない
- 「これ」「ほれ」「あれ」の(少なくとも)3分の2程度は談話的意味が強く感じられる

……「あの」「その」などのフィラーとの比較が必要

28

指示詞

「ほだ」と「んだ」

sooが述語になった例

表5 3時間談話におけるsoo(=da)、soo=ka相当形式(話者OB)

そ			ほ		ん	
そう	そうだ	そうか	ほだ	ほうか	んだ	んか
24例	1例	3例	139例	14例	15例	1例

「ほだ」には「ほうだ」1例、「ほうか」には「ほか」2例を含む
このほか、否定の「ほでね」「ほんね」8例がある(後述)

- 「んだ」は意外と少ない
(『全国方言資料』の北海道・東北各地の談話でも、「んだ」はあるものの「そう(だ)」のほうが数が多い)

29

指示詞

(22)は白岩の内省だが、
談話中にも「ほう。」「ん。」の例はない

- 「ほだ」「んだ」はゼロコンピュータ不可
(22) a. うん、{そうだ/そう}。
b. うん、{ほ(う)だ/*ほう}。
c. うん、{んだ/*ん}。
- 「ほだ」「んだ」の否定は「ほでね」「ほんね」
(23) OR: みんなで持ち上げた? {笑}
OB: ほで、ほでね。機械で、
(24) OR: うん、あれ、〇〇くんち?
OB: うん、ほんねほんね。ほこの、前のうちで、

【謎】「んだ」の語彙的資源は……?

30

指示詞

疑問詞(指示詞do-以外)

表6 伊達市方言の疑問詞(話者OBの談話・内省)

人	物	場所	時間	量・数	様態	理由
dare	nani	doko	ecu	naNbo	nazjo(ni)	nasute naNde

- (25)【国の行く末を案じて】
なじよになっかわかんねな、この国はな。

31

これからの課題

これからの課題

- 代名詞・指示詞以外の項目を分析する
- 語彙をさらに収集する(特に例文の録音)
- 他の話者、他の地域の談話も集める
→ 民話資料の参照、福島大学などとの連携
- 継承活動の試行
→ 大学の授業で「福島方言講座」をやってみる
(学生は関東出身でも)

(写真: 福島大学グループでの調査
2018.2.16 福島県檜葉町)



32

これからの課題

ご清聴
ありがとうございました



本発表は下記のプロジェクトに関する研究成果である

- (1) 国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」(プロジェクトリーダー: 木部暢子)
- (2) JSPS科研費基盤研究(C) 15K02557「福島県相双方言の記録と継承を目的とした調査研究」(研究代表者: 半沢康、福島大学)

33

参考文献

【参考文献】

- 飯豊毅一(1974)『国立国語研究所報告53 言語使用の変遷(1) —福島県北部地域の面接調査—』国立国語研究所
- 木部暢子(2016)「記述方言学の研究動向」『方言の研究』2
- 白岩広行(2017a)『福島県伊達市方言談話資料 —震災後の生活と語り—』上越教育大学白岩広行研究室(科研報告書)
- 白岩広行(2017b)『福島県伊達市方言談話資料別冊 福島方言の記述にむけて』上越教育大学白岩広行研究室(科研報告書)
- 白岩広行(2018a予定)「福島方言の表記法を考える」『立正大学国語國文』56
- 白岩広行(2018b予定)「方言だから伝わることを考えて」『人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」ブックレット 新しい地域文化研究の可能性を求めて』2
- 日本放送協会編(1966)『全国方言資料 第1巻 東北・北海道編』日本放送出版協会

【参考URL】

- 峰岸真琴『言語調査票2000年版』
(http://www.aa.tufs.ac.jp/~mmine/kiki_gen/query/aaquery-1.htm)

34